

Hidaka

林業

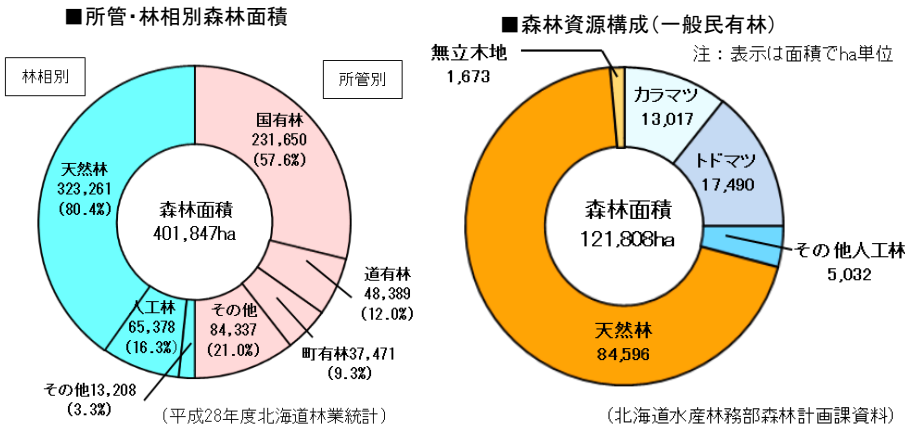
管内には40万2千ヘクタール森林があり、全道の森林面積の約7%を占めています。管内の総土地面積に占める森林の割合は約84%で、これは14総合振興局・振興局の中で最も高く、更に、広葉樹の蓄積量が全道の約10%を占めるなど、豊富な森林資源を有しています。

また、戦後、植林されたカラマツやトドマツなどの人工林が利用期を迎えており、管内の森林から生産された人工林材を加工して公共施設や町営住宅の建築部材に利用する「地材地消」の取組みのほか、森林整備の過程で発生した林地未利用材等を木質バイオマス発電や暖房用の燃料として供給する施設整備が行われるなど、人工林資源の循環利用が進められています。



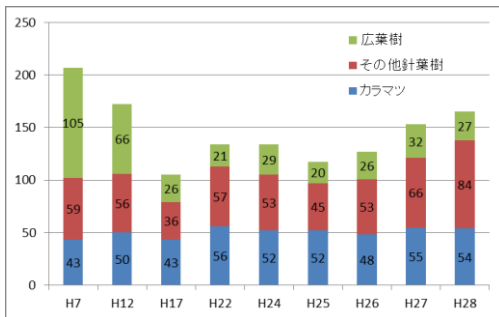
クリスマスツリーの点灯式

【えりも町内で間伐されたトドマツを使用】

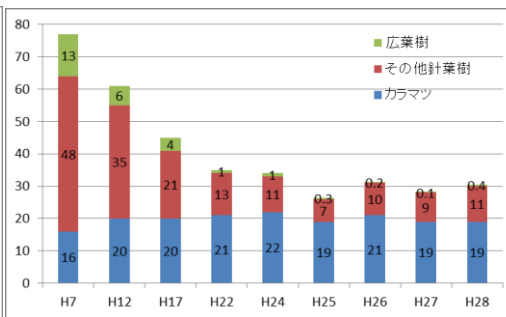


チップパー機と保管施設
【様似町・ひだか南森林組合】

■素材生産量の推移



■製材出荷量の推移



■林産関係事業体数の推移

年度	H7	H12	H17	H22	H24	H25	H26	H27	H28
製材	18	12	10	5	5	4	5	5	5
山積	7	5	3	3	3	3	3	3	3
チップ	18	16	11	5	5	4	5	5	5
バイオマス	-	-	-	-	-	-	1	1	1
合単板	2	1	1	1	1	1	1	1	1
パレット	3	3	3	1	1	1	1	-	-
集成材	4	3	1	1	1	-	-	-	-
木取加工	4	1	-	-	1	1	1	1	1
木炭	6	5	4	2	1	-	-	-	-
防腐	3	2	2	2	2	2	2	2	2
フレカット	3	2	2	2	2	2	1	1	1
その他	8	4	3	3	2	2	2	2	2
合計	76	54	40	25	24	20	22	21	21

(林務課調)

「木育」の取組

日高振興局森林室では、子どもをはじめとする全ての人に、木とふれあい、木に学び、木と生きるという「木育」の理念を広く知ってもらうため、小学校での総合的な学習の時間等を活用した森林教室の開催をしています。

また、地域イベントでの木工体験教室等の実施や「きぼうのプール」の設置を行い、子供たちに木のぬくもりや匂いなどを感じてもらえる機会の提供をしています。

このほか、道有林を利用して、豊似湖を一周する森林散策など、道民に森林とふれあう場の提供をするイベントも開催しています。



きぼうのプールで遊ぶ子供たち
(えりも町 海と山の幸フェスティバル)

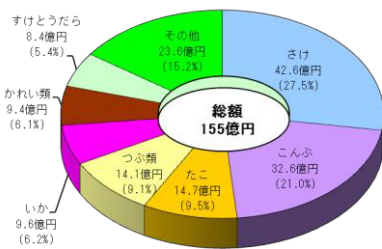
水産業

管内は、167kmの海岸線を有し、親潮と黒潮のぶつかり合う好漁場に恵まれ、沿岸漁業を主体に漁業が行われております。

平成27年の管内の生産額155億円のうち、さけが42.6億円(27.5%)、こんぶが32.6億円(21.0%)と、この2魚種が全体の約半分を占める主要魚種として位置付けられています。

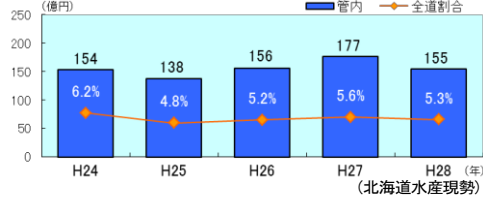
また、こんぶ、たこ、つぶ類の生産額は、全道生産額のそれぞれ16.6%、14.3%、38.2%を占め(H28数値)管内の特産魚種として漁獲されております。

■魚種別漁業生産額

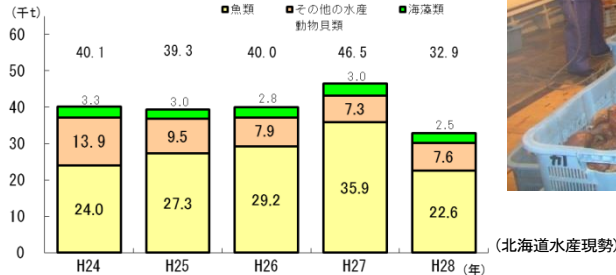


(平成28年 北海道水産現勢)

■漁業生産額の推移



■漁業生産漁の推移



こんぶ干し風景(新ひだか町)



ツブ漁の様子(様似町)

■全道に占める管内漁業の地位

単位: 漁業生産量(t)、漁業生産額(百万円)

区分	管内	全道	全道比					
			10%	20%	30%	40%	50%	
こんぶ	漁業生産量	2,712	14,275	16.3				
	漁業生産額	3,256	20,603	16.6				
さけ	漁業生産量	5,871	82,432	6.1				
	漁業生産額	4,257	52,598	6.2				
いか	漁業生産量	1,412	23,930	3.2				
	漁業生産額	960	14,957	3.0				
たこ	漁業生産量	3,213	21,943	14.6				
	漁業生産額	1,471	10,280	14.3				
かわい類	漁業生産量	2,269	20,494	11.1				
	漁業生産額	937	5,807	16.1				
すけとうだら	漁業生産量	10,283	121,632	8.5				
	漁業生産額	839	11,178	7.5				
つぶ類	漁業生産量	2,302	7,662	30.0				
	漁業生産額	1,411	3,694	38.2				
はたはた	漁業生産量	64	430	14.9				
	漁業生産額	24	188	12.8				
その他	漁業生産量	4,730	567,128	0.8				
	漁業生産額	2,345	175,839	1.3				
合計	漁業生産量	32,856	859,926	3.8				
	漁業生産額	15,500	295,144	5.3				
動力漁船数(隻)		1,781	25,266	7.0				

(漁業生産量・漁業生産額:H28年北海道水産現勢)
(漁船数:H28年漁船統計)



マツカワの放流(えりも町)

育てる漁業

管内では、サケ・マスのか化放流や、ウニの種苗生産・放流などにより、育てる漁業に取り組んでまいりましたが、近年は、ハタハタや、マツカワ(王鰈(おうちょう))といった高級魚の増殖にも取り組んでいます。

特に、マツカワについては、平成18年から北海道栽培漁業拠点センター(伊達市、えりも町)の供用が開始され、平成20年からは、えりも町から函館南茅部町までのえりも以西太平洋海域で毎年、100万尾の種苗放流を行い、150トンの資源創造を図る計画となっており、管内では45.5万尾(平成28年実績・標識及びイベント含む)が放流されました。

また、放流後の稚魚の保護・育成を目的とした「全長35センチ未満のマツカワの海中還元」を内容とした海区漁業調整委員会指示も発動され、漁業者、遊漁者等が資源管理に取り組んでいます。